

公共交通サービスを提供する候補地区における対策案等の検討(鹿ノ台)

●検討条件

- 運行主体：生駒市がバス事業者へ委託（現在のたけまる号と同様）
- 運行経路：鹿ノ台内を巡って登美ヶ丘駅を往復
- 運行日数：週3日（月・水・金：年間144日＝3日/週×4週/月×12か月）
- 運行時間：10時台～15時台
- 運行回数：8便/日（25分/便）
- 運賃：190円（鹿ノ台から登美ヶ丘駅までの路線バス運賃と同額）
- 自治会負担：生駒市のコミュニティバス運賃200円との差額10円、
既存路線バスと重複する区間の運行経費の1/2は自治会負担

●運行ダイヤ案

	1便	➡	3便	➡	5便	➡	7便	
登美ヶ丘駅	10:00	10:55	11:15	12:10	13:00	13:55	14:15	15:10
鹿ノ台東一丁目	10:02	10:53	11:17	12:08	13:02	13:53	14:17	15:08
D	10:05	10:50	11:20	12:05	13:05	13:50	14:20	15:05
H	10:08	10:47	11:23	12:02	13:08	13:47	14:23	15:02
I	10:09	10:46	11:24	12:01	13:09	13:46	14:24	15:01
B	10:10	10:45	11:25	12:00	13:10	13:45	14:25	15:00
A	10:11	10:44	11:26	11:59	13:11	13:44	14:26	14:59
鹿ノ台北二丁目	10:12	10:43	11:27	11:58	13:12	13:43	14:27	14:58
G	10:13	10:42	11:28	11:57	13:13	13:42	14:28	14:57
F	10:14	10:41	11:29	11:56	13:14	13:41	14:29	14:56
E	10:15	10:40	11:30	11:55	13:15	13:40	14:30	14:55
H	10:17	10:38	11:32	11:53	13:17	13:38	14:32	14:53
I	10:18	10:37	11:33	11:52	13:18	13:37	14:33	14:52
C	10:21	10:34	11:36	11:49	13:21	13:34	14:36	14:49
鹿ノ台東一丁目	10:23	10:32	11:38	11:47	13:23	13:32	14:38	14:47
登美ヶ丘駅	10:25	10:30	11:40	11:45	13:25	13:30	14:40	14:45
	➡	2便	➡	4便	➡	6便	➡	8便

●利用者の想定(H29年度アンケートによる)

毎日利用 したい	週に数回 利用したい	月に数回 利用したい	たまに 利用したい	不明	回答者数
51人 (15.6%)	168人 (51.5%)	53人 (16.3%)	47人 (14.4%)	7名 (2.2%)	326人 (100%)

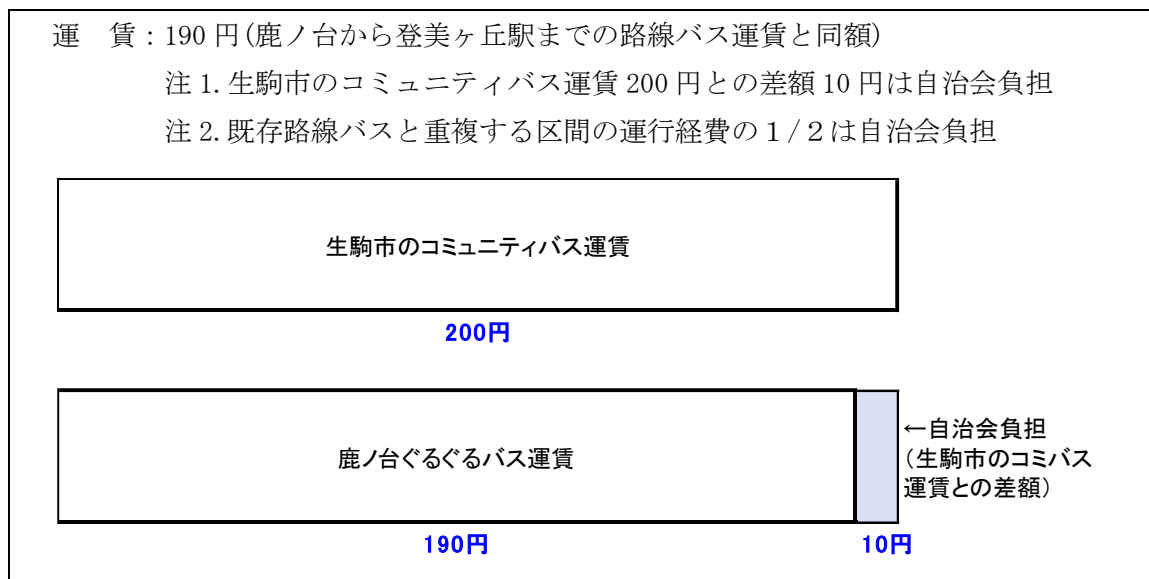
毎日の利用者 (a)	週に数回利用⇒ 1日の利用者数※1 (b)	1日の利用者数 (a)+(b)=(c)	低減率(50%)を考慮し た1日の利用者数 (c)×0.5※2
51人	84人	135人	60人

※1 週に数回利用者数×1.5回÷3日(週に数回利用者は平均週に1.5回利用と想定)

※2 135人×0.5 = 67.5人 → 60人(端数処理)

週3日運行：60人/日×144日＝8,640人/年

●収支計算（自治会等負担）



・自治会の負担額（1）：運賃収入に相当

生駒市のコミュニティバス運賃との差額 10 円を自治会が負担

$$10 \text{ 円} \times 8,640 \text{ 人/年} = \underline{86,400 \text{ 円}}$$

→自治会会員世帯 2,560 世帯では、約 34 円/世帯・年の負担となる。

・自治会の負担額（2）：運行経費に相当

路線バスと重複する鹿ノ台東 1 丁目～登美ヶ丘駅間の運行経費の半分を自治会が負担

現在、登美ヶ丘駅までは路線バスが運行しており、区間として重複する鹿ノ台東 1 丁目バス停～登美ヶ丘駅までの運行に係る費用については、地元負担とすることについて検討が必要である。

一方、鹿ノ台地区内の走行だけでは登美ヶ丘駅との乗り継ぎのために、既存の路線バスへの乗り継ぎが必要となり、料金負担も大きくなる。ぐるぐるバスが公共交通としての機能を果たすには、登美ヶ丘駅まで運行し、利用者の利便性の向上を図ることが不可欠であり、公共性があると考えられる。また、登美ヶ丘駅まで運行することにより、利用者をより確保することが可能となるため、重複区間の運行経費は自治会と生駒市とで半分ずつ負担する。

$$1.0\text{km}(\text{鹿ノ台東 1 丁目} \sim \text{登美ヶ丘駅}) \div 6.35\text{km}(1 \text{ 便当たり運行距離}) = 15.7\%$$

$$\text{年間運行経費 } 5,100,000 \text{ 円} \times 15.7\% \times 50.0\% = \underline{400,350 \text{ 円}}$$

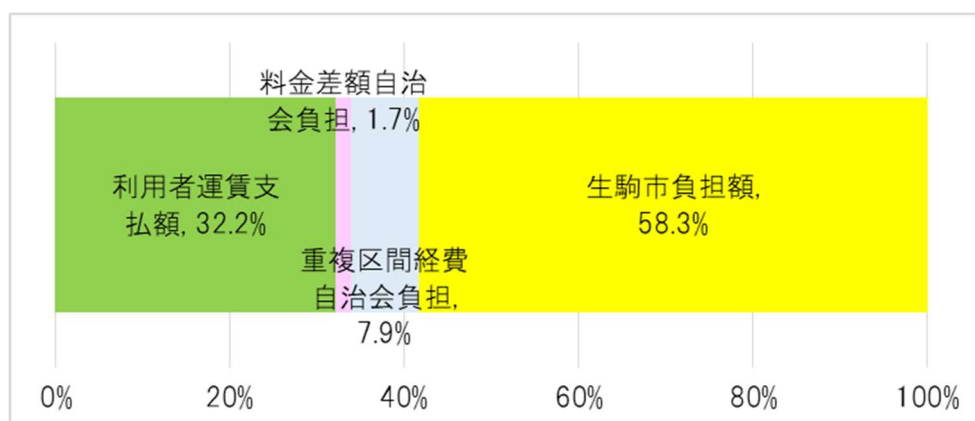
→自治会会員世帯 2,560 世帯では、約 156 円/世帯の負担となる。

★自治会の負担額の計（1）+（2）= 486,750 円

→自治会会員世帯 2,560 世帯では、約 190 円/世帯の負担となる。

項 目	計 算 値	備 考
日利用者数想定	60 人/日	①
運行日数	144 日	②
年間利用者数	8,640 人	$a=① \times ②$
運賃	190 円	b
他のコミュニティバス料金との差額	10 円	p
年間収入	2,128,350 円	$A=c+d+e$
利用者運賃支払額	1,641,600 円	$c=a \times b$
自治会支払い額(料金差額負担)	86,400 円	$d=a \times p$ 自治会負担(1)
自治会支払い額(重複区間経費負担)	400,350 円	e 自治会負担(2)
運行経費	5,100,000 円	B 事業者見積額
生駒市負担額	2,971,650 円	$C=B-A$
(生駒市負担率)	58.3%	$C \div B$

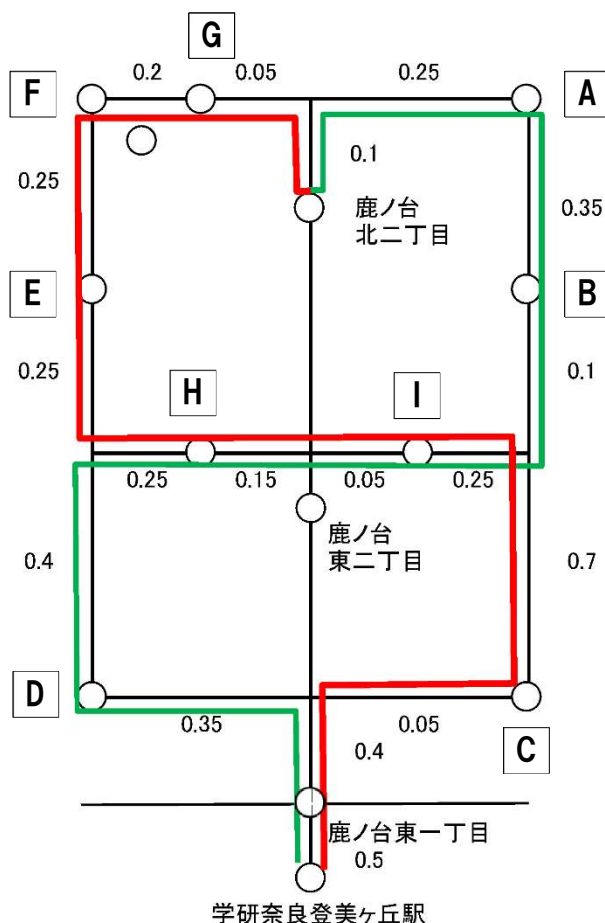
運行経費負担の内訳



●運行方針

- ・自治会が中心となってコミュニティバスの利用を促進し、乗車率を高めることにより、継続性ある事業の実現を図るものとする。

●運行経路案



登美ヶ丘駅～D・H・I・B・A・北二丁目・G・F・E・H・I・C～登美ヶ丘駅 6.35km
 登美ヶ丘駅～C・I・H・E・F・G・北二丁目・A・B・I・H・D～登美ヶ丘駅 6.35km

●実施スケジュールについて

住民合意、協議会での審議、予算確保などの課題をクリアしていく必要があり、以下の様な工程案が考えられる。

(令和2年度) 地区内合意形成・方針決定

↓

(令和3年度) 10月 運行計画決定・予算要求

↓

(評価方法の検討、業者選定要綱作成など)

↓

3月 議会・予算決定

↓

(令和4年度) 4月 実証運行業者選定手続き開始

↓

(業者選定作業、運輸局手続き資料準備)

↓

6月 業者決定

↓

(運輸局手続き、バス停設置、広報周知等)

↓

9月 実証運行開始

↓

(令和5年度) 8月 検証・評価

↓

本格運行 or 計画の見なおし